

広範囲熱傷での 短冊カット・ポリ袋ドレッシング法

夏井 睦先生のホームページ「新しい創傷治療」より

<http://www.wound-treatment.jp/next/case/952-dressing.htm>

最も安上がりで簡便な 広範囲熱傷のドレッシング材料の作り方

<用意するのは次の2つ>

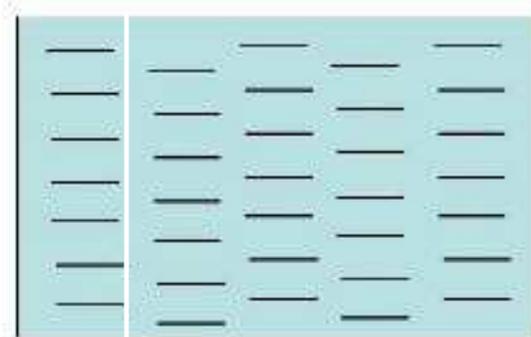
1. 45リットルくらいのポリエチレンの袋 (=ゴミ袋)
2. ペット用シーツ or 紙おむつ: 吸収力があり, 外漏れしなければ何でもよい



ゴミ袋を折りたたみ、2センチくらいの切れ込みを2センチ間隔で入れる



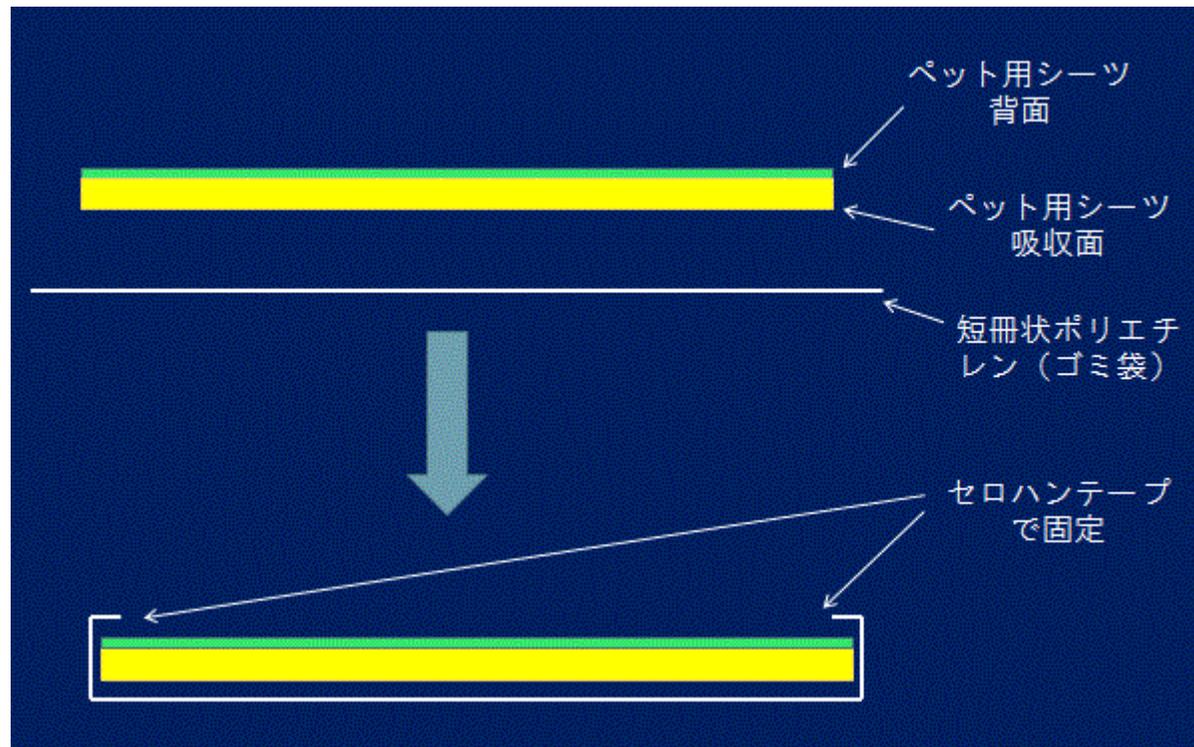
切れ込みが入っている



展開模式図



それを広げる



- ◆ポリ袋に短冊状のカットを入れて、それをペット用シートにかぶせるだけであり、ポリ袋の面を創面に当てる。あとは包帯などで固定するだけ。
- ◆滲出液の量によって1日1～数回交換する。
- ◆余分な滲出液、膿汁はスリットを通してペット用シートに吸収されるため、創感染を起こす率は極めて少ない(もちろん、水疱膜はすべて除去することが前提である)。